

会 議 録

1 会議名

平成 30 年度 3 回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成 30 年度地域活動支援事業について（公開）

①プレゼンテーション

②個別質問への回答（再質問含む）

(2) 次回開催日の確認（公開）

(3) その他（公開）

3 開催日時

平成 30 年 5 月 23 日（水）午後 6 時から午後 9 時 10 分まで

4 開催場所

上越市役所木田庁舎 4 階 401 会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：安樂 大、池杉清子、今井 孝、太田一巳、大竹明德（副会長）、金子隆一
 渋谷 俊（副会長）、田沢 浩、田中幸晴、谷 健一、野澤武憲、藤田晴子
 星野 剛、吉田幸造（会長）、吉田 実、鷲澤和省（欠席 4 人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【吉田会長】

- ・会議録の確認：太田委員に依頼

次第2議題「(1)平成30年度地域活動支援事業について」の「①プレゼンテーション」と「②個別質問への回答」に入る。進行は事務局にお願いしたいと思うがよいか。

(「よし」の声)

【野口係長】

- ・プレゼンテーションの方法について説明
- ・アンカー（再質問の内容確認と代理質問者）：渋木副会長、今井委員

【春-1提案者】

- ・「春-1 高齢者の健康づくり活動（まちづくり）と地域交流事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-1提案者】

質問1「地域活動支援事業費以外での収入はあるか。あれば内容を教えて欲しい。」について回答する。

春日野町内会より14万円の他に、健康体操で65名の会員から徴収している会費、近隣散策では参加費として6万円徴収し収入としている。

【野口係長】

再質問に入る。アンカーをお願いします。

再質問がないようなので「春-1」を終了する。

— 提案者退席 —

「春-2 春日野いきいきサロン事業」については欠席のため、文書での回答を参照して欲しい。再質問はなしとし「春-2」を終了する。

【春-3提案者】

- ・「春-3 木田新田町内活性化事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-3提案者】

質問1「裨天購入について、町内会費や地域企業からの協力等による購入はできない

か。」について回答する。

町内会費に関しては、募金や支援・協賛金等について都度集金している訳ではなく、町内会費から捻出しているため、余分な予算はなく厳しい。また、現在は月々2,000円の町内会費を集めており、他の町内より高めの町内会費と思われ、これ以上の徴収は難しいと考えている。さらに、企業等からの協力金に関しては、町内には大きな企業はなく、診療所が3件、薬局が2件、保育園、社会福祉協議会が運営している総合福祉センターがあるが、どれも協賛金を求めることは難しい状況である。営利目的とした企業があれば状況は変わるが、現状では難しい。

【野口係長】

再質問に入る。アンカーにお願いします。

再質問がないようなので「春-3」を終了する。

— 提案者退席 —

【春-4提案者】

・「春-4 ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-4提案者】

質問1「昨年度と同様、資格取得は自己負担でお願いできないか。できなければ理由を教えて欲しい。」について回答する。

取得できる資格は取りたいと考えているが、これについては提案を取り消したい。資格取得希望者に話して了承を得た。ただ、県内にて毎年資格取得試験がある訳ではなく、昨年度は1人あたり10万円近い個人負担があった。資格取得は必要なことであるため、来年度改めて提案したい。

次に、質問2「運営の会員及び昨年度の収支決算を教えて欲しい。」について回答する。

(当日配布資料参照)

昨年度は、地域活動支援事業より70万2,000円の補助金をもらい、主に大会参加費・交通費・ユニフォームの購入金に充てた。さらに、前年度繰越金・会員からの会費で遣り繰りした。

次に、質問3「参加費、交通費が増えた理由を教えてください。」について回答する。

チームが強くなったため、昨年度から色々なチームや団体よりお誘いの声がかかり練習試合をする機会が生まれた。今年度もレベルアップのために、どんどん参加したい。

次に、質問4「次年度以降の活動の見通しを教えてください。」について回答する。

今年度の活動を継続しながら、活動範囲を広げていきたいと考えている。たくさん練習を頑張っている子供たちや毎回練習に来ている子供たちに、たくさんのチャンスを与え、より多くの大会へ参加し、一つ一つの経験や体験を積み上げてほしいと思っている。その子供たちが大人になった時に、今の頑張った記憶や成功した経験を活かせれば良いと考えて取り組んでいる。近隣からも練習試合等の色々な声を掛けてもらっているが、交通費等の問題からお断りすることも多いため、負担軽減のために採決をお願いしたい。

【野口係長】

再質問に入る。アンカーをお願いします。

再質問がないようなので「春-4」を終了する。

— 提案者退席 —

「春-5 御館リバーサイド環境美化事業」については欠席のため、文書での回答を参照して欲しい。再質問はなしとし「春-5」を終了する。

【春-6提案者】

・「春-6 春日山モルツミニバスケットボールクラブ事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-6提案者】

質問1「バス遠征先について、今年度の予定と場所等を詳細に教えてください。」について回答する。

(当日配布資料参照)

今年度の遠征計画は配布資料に記載の通り。昨年度は、30万円弱の補助金をいただき、実際には12回の遠征を行った。チームが強くなることで、色々なチームや団体からの声掛けが増え遠征回数が増加してきている。昨年度は補助金をもらったが、実際

には合計130万円ほどかかったため、不足分は自己負担でまかなっている。今年度は、現時点で8回の遠征を予定しており、見積もりについては小型バスで取っている。しかし、男女合同での遠征の際には小型バスでは厳しいため、大型バスでの移動となり費用も増加するが、チーム及び自己負担による遠征を予定している。極力、日帰り圏内での遠征になるように意識しているが、大会の結果によっては宿泊での遠征になることもある。6、7、11月には地区大会があり、優勝など良い成績を出した場合は、遠征が増えることも予想される。参考までに平成29年度には、一番遠方で石川県の輪島まで遠征した。

【野口係長】

再質問に入る。アンカーに願います。

再質問がないようなので「春-6」を終了する。

— 提案者退席 —

【春-7提案者】

・「春-7 春日山城跡保存整備促進協議会10周年記念事業」についてプレゼンテーション

質問1「事業完成後、見学案内ルートの提案予定はあるか。」について回答する。

見学案内ルートを明確にするために事業提案したいと思ったが、当会の事業は、毎年度補助希望額が大きくなるため、極力減額するために次年度以降に先送りしたところだ。

次に、質問2「P. 4収支計画等の収入の部の協議会負担金508,600円のうち、記念誌あっせん分1,314円×200冊=262,000円に一部充当(協議会で原価で買い取り)とあるが、良く分からないので説明をお願いしたい。」について回答する。

(当日配布資料参照)

600冊の記念誌作成を予定している。市の補助金が178万9,000円、協議会負担金が50万8,600円、うち、記念誌買い取り分は26万2,800円である。400冊は無償で企業や地域住民へ配布し、残りの200冊は購入希望者へ原価1,314円のところ500円であっせんし、約10万円の収入を予定している。

極力、補助金等の申請額を減額したいとの思いから、あっせんによる収入を予定している。しかし、200冊全てがあっせんできる保証もないため、当協議会による買い取りという方法を選択した。

次に、質問3「地域の宝である春日山城跡を保存するための『松葉かき』等は教育的支援事業と評価しているが、今年度の実施予定はあるのか。」について回答する。

10周年記念事業に含めていないがこれまでも行っているため、本日、5月23日、春日小学校の児童134名、教職員5名、当会員31名で松葉かきを実施した。

相撲場の周りの松葉かきは小学生で行えるが、松の木が枯れている部分はこれまでの2年間、補植を行った。ブッシュが出てきているため雑草も行わなくてはならず、その部分の松葉かきは今年が無理であれば来年で行う予定である。春日中学校の生徒も参加を希望すれば検討していく予定である。

【野口係長】

再質問に入る。アンカーに願います。

【今井委員】

再質問だが、今回の提案書の年間スケジュールに「松葉かき」は入っていないとのことだが、費用面はどうなっているのか。

【春-7提案者】

通常、かいた松葉をレッカー車で回収するため大きな費用がかかる。しかし、相撲場の下に横井戸があり陥没している。昨年、教育委員会と話し合い、どうせ土で埋めるのであれば松葉を入れることに決まった。そのため、回収の費用は掛からないが、子供たちにお菓子を配布し、終了後、協議会委員と地域住民とで15分から20分程度春日山城跡について話し合う場を設け、子供たちに大変喜ばれた。中学生と松葉かきを行うとなれば、集めるのは中学生で行っても回収は市の農林水産整備課に依頼しなくてはならない。

【野口係長】

「春-7」を終了する。

— 提案者退席 —

— 休憩 10分 —

【野口係長】

会議を再開する。

【春-8提案者】

・「春-8 春日区の交通安全のための交通安全推進活動並びに交差点関連路面標示修繕等事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-8提案者】

質問1「春日区居住者から毎年180万円前後の会費収入、総額210万円前後の予算があるが、この範囲で事業実施は不可能か。」について回答する。

平成29年度ベースと比較して考えると、不可能と言わざるを得ない。

【野口係長】

再質問に入る。アンカーをお願いします。

再質問がないようなので「春-8」を終了する。

— 提案者退席 —

「春-9 新光町内活性化事業」については欠席のため、文書での回答を参照して欲しい。再質問はなしとし「春-9」を終了する。

【春-10提案者】

・「春-10 安全に安心して暮らせるまちづくり事業（防犯パトロール実施事業）」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。。

【春-10提案者】

質問1「昨年度は、のぼり旗は100枚、竿は50本の購入等予定で補助金が交付されているが、旗の材質をグレードアップして消耗度合いを低減して長く使用する工夫をしているのか。」について回答する。

先日、業者に確認したところ、のぼり旗に使用されている生地は、ポンジとトロピカルの2種類があり、現在使用しているのはトロピカルという少し厚めの生地を使用している。現在、塩ビ管をガードレールに縛り付け、その中に竿を立てる方法を検討している。その理由は、通常につけ方をすると風で旗だけが回ってしまい、旗や竿に負担がかかるが、この取付方法では負担が少ないことが予想される。このやり方が上手くいけば、旗・竿ともに長持ちすると考えており工夫している。

次に、質問2「地域活動支援事業費補助金を活用したのぼり旗、帽子、ベスト等の累計と、劣化等により棄損、廃棄したものの数はいくつか。」について回答する。

平成26年からの4年間で、

- ・旗が950枚作成、現在162枚使用、残78枚、廃棄710枚
- ・竿が340本作成、現在162本使用、残58本、廃棄120本
- ・キャップが230個作成、現在162個使用、残47個、廃棄21個
- ・横棒が215本作成、現在162本使用、残15本、廃棄38本
- ・ベストが460着作成、421着使用、残39着、廃棄0着
- ・帽子が760個作成、現在760個使用、現段階で150個不足しているため、今回の提案にて購入を検討中
- ・誘導灯が120本購入、現在55本使用、残41本、廃棄24本
- ・拍子木が52組購入、現在14組使用、残10組、廃棄28組
- ・ライトが18個購入、現在14個使用、残4個、廃棄0個

拍子木は丈夫に見えて、雪・雨風等に当たってしまうと持ち手部分が割れてしまう。怪我の恐れもあり危険であるが、なるべく長く使用できるように使用者に呼びかけている。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

再質問がないようなので「春-10」を終了する。

— 提案者退席 —

【春-11提案者】

- ・「春-11 子ども行事（春祭り、夏祭り、餅つき大会）の支援事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-11提案者】

質問1「蒸し器・餅つき機は、会員の中でお借りすることは無理か。無理の場合は、その理由を教えて欲しい。」について回答する。

会員からの借入は可能であり、現在も借りて行っている。しかし、家庭用のため容量が小さい。町内会自体が大きいため3器から4器必要であり、借用に毎回苦勞し、かつ準備にも時間が掛かり役員の負担が大きい。参加者に配布するためには時間と手間が掛かり間に合わない。これらを考慮し、町内会のサイズに見合ったものを準備したい。借用先の住民には年間7,000円から8,000円の謝礼を払っており購入したほうが良

いと考えた。

次に、質問2「ガラポンのレンタルは無理か。無理な場合はその理由を教えてください。」について回答する。

夏祭りのみの使用ではなく、町内会の運動会、1月の新年会、9月の敬老会でも使用しており、使用回数が多いため購入を希望している。

次に、質問3「太鼓2張は新規購入か、既存の更新か。」について回答する。

太鼓は新規の購入である。木田町内会の春祭りでの神輿巡回は3コースに分かれているが、太鼓を1張しか所有していないため、2コースは太鼓なしで音を放送で流しながら巡回している。そのため、残り2コース分の太鼓も用意すれば、参加する町内の子供たちの士気も高まり張り合いも出ると思い、購入を希望している。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

再質問がないようなので「春-11」を終了する。

— 提案者退席 —

【野口係長】

次に「春-12」を予定していたが、提案団体がまだ到着していないため、先に「春-13」のヒアリングを行う。

【春-13提案者】

・「春-13 高齢者の生きがいくくりと地域交流事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-13提案者】

質問1「歌声列車代金を一部個人負担にできないか。」について回答する。

出来ると思う。基本的に温泉宿での食事代として3,000円、列車代で雑費含めて3,000円が1人当たりそれぞれ掛かっており、どちらかだけでも支援してほしいと考えている。参加者は年金生活者であり、年金が少ない方も多いため、負担を少しでも減らしてたくさん参加してほしいと考えている。

次に、質問2「歌声列車参加の地域への周知方法を教えてください。」について回答する。

新聞・ホットライン・伝言板などで告知している。また、春日地区の老人団体、イ

ベントや活動等でも告知している。今年度は高齢者サロンでも可能であれば宣伝したいと考えている。

次に、質問3「参加者の多い町名はどこで、何歳くらいの参加者が多いのか。」について回答する。

参加者に「春日山何丁目に住んでいるか」と確認しておらず、電話番号のみで受付をしているため町名は不明であるが、春日山駅から乗車する方が多い。年齢も聞いては失礼なので聞いていないが、見た目から判断して75歳から80歳代が多く、60歳代はほとんどいないと思っている。

次に、質問4「歌声列車の効用は何とお考えか。」について回答する。

列車に乗り歌を歌うことが高齢者の気持ちに張りを持たせ、独居の高齢者にコミュニケーションの場を提供していると考えている。やる気、若返りの気持ち増進につながっていると感じている。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

再質問がないようなので「春-13」を終了する。

— 提案者退席 —

【春-12提案者】

- ・「春-12 小学生の音楽による地域の絆づくり支援事業」についてプレゼンテーション

質問1「後援会からの負担割合はあるのか。」について回答する。

負担はあるが、ごく少額である。後援会予算は色々な用途があり、楽器を1台でも購入する余裕は全くない。金管楽器は今回提案している中で一番安価の物でも17万6,000円と高額である。高価な楽器を地域活動支援事業で購入し、地域で演奏するが、費用対効果と言われると疑問に感じることもある。しかし、子供たちは新しい楽器に出会うと大変に嬉しそうに練習に励む。現在、子供たちは代々引き継がれてきた楽器を使用し、音の出にくい楽器は教師がメンテナンスしてどうにか音が出るようにして、必死に子供たちの指導にあたっている。そして、コンクールや謙信公祭に参加して、子供や教育者も地域や保護者の期待に応えている。

次に、質問2「今後の補充や更新計画はあるのか。」について回答する。

必要に応じてやっていかざるを得ないと思っている。昨年度は地域活動支援事業よ

り多大なる支援をいただき、今年度も不足分を購入として提案しているため、来年度は提案を見送るつもりである。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

再質問がないようなので「春-12」を終了する。

— 提案者退席 —

— 休憩 10分 —

【野口係長】

順番が前後するが、次に「春-16」のヒアリングを行う。

【春-16提案者】

・「春-16 新光町バス停リニューアル事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-16提案者】

質問1「頸城自動車株式会社等との打ち合わせを行ったか。また、バス停の修繕を地域活動支援事業費補助金で行う理由を説明して欲しい。」について回答する。

頸城自動車乗合部長と2年間程かけて、2、3回話し合いをしている。現在、バス停の建物が民間の倉庫の中に一部入り込んでいる状態のため、予算は出せないとの回答であり、バス停内に設置するベンチ程度であれば支援するとの確約を貰っている。また、地域活動支援事業で修繕を行う理由については、現バス停は上越大通り沿いにあり、45年前に設置されたため老朽化している。利用者は地域住民だけではなく春日山、上越市役所の玄関口として、また、観光者や公共施設、例えば文化会館・商工会議所・夜間休日診療所・春日山駅等の利用者など、他のバス停に比べ多くの利用があるため、町内会として昨年より整備計画を検討してきた。しかし、財源に関しては以上の理由から公共性・広域性が高いと判断し、バス業者や上越市に相談したが、金銭的な支援が望めないことが分かったため、今回の地域活動支援事業への提案に至った。

次に、質問2「今後のバス停の維持管理について教えて欲しい。」について回答する。

現在も週に1回程度の頻度で町内会住民が清掃を行っている。冬場の除雪に関しても、町内会の予算の中で、ボランティアが行っている。また、今後の維持管理の確保に関しては、バス停内掲示板にPR広告の掲示、店舗・事業所からの協力金を募り、自主財

源として維持管理費の確保を予定している。バス停前のプランターの設置等は今まで通り、町内会にて実施し、費用負担を継続する予定である。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問だが、現在、バス停が一部入り込んでいる民間の倉庫とは企業のものか、あるいは地域住民のものか。

【春-16提案者】

バス停向かい側に居住している住民の倉庫の一部である。提案書にも記載したが、現バス停は外に50センチメートル程度しか出ておらず、1メートル以上が倉庫内に入り込んだ状況である。そのため現在、町内会では借地料として年間1万5,000円を倉庫の所有者に支払っている。

【野口係長】

「春-16」を終了する。

— 提案者退席 —

【春-14提案者】

・「春-14 春日野トレイル（自転車コース）整備事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-14提案者】

質問1「春日区の住民を対象としたスクールイベントは具体的にいつ頃実施しているのか。また、これまでの実績はあるのか。」について回答する。

現状ではスクールを開催していない。しかし、サッカー等とは違い、競技人口が多いスポーツではない。現在は、自転車に乗りたいと遊びに来た人が気軽にコミュニケーションを取りながら利用でき、自分が教えられる範囲で楽しさやスキル、安全性等を指導している。「過去にスクールの実績があるか」については、自分も小学生の頃からこのコースを利用していたが、全国で活躍しているBMXライダーに教えてもらっていた。実際スクールの実績はないが、これからは自分が伝える側の立場になったと思っているので、開催していきたい。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

【今井委員】

再質問だが、提案書に「イベントの予定」とあるが、スクールではないイベントなのか。そして、近隣の春日小学校等にチラシを配布する等の予定はあるか。

【春-14提案者】

小学校等にもチラシの配布を考え、教育委員会に問い合わせたところ、民間の任意団体のため難しいとの回答であった。宣伝をすることで参加希望者が増えればと考えている。イベントは大変天候に左右されるが、今月末の日曜日（5月27日）にもイベントが予定されており、午前中は金谷山でレース、午後は春日野トレイルの整備や子供たちに教えたりすることを予定している。定期的なスクール等は今後もホームページ等で告知していく予定である。

【野口係長】

「春-14」を終了する。

— 提案者退席 —

【春-15提案者】

・「春-15 土橋祭り活性化事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-15提案者】

質問1「この事業は個人及び町内会予算で一部負担することはできないか。」について回答する。

町内会からは、予定している事業は神事にかかわる事業として、宗教上の神事と関係があると捉える住民もおり、町内会予算からの捻出は難しいとの指摘があった。ただ、私たちとしては、この祭りを神事や宗教として捉えておらず、祭りという伝統行事を次世代に繋げるとともに、祭りをきっかけに地域のコミュニケーションを図るために地域活動支援事業で提案することとした。

次に、質問2「分割購入は検討したか。」について回答する。

検討はしたが、新規で始める事業であり、人数的にもたくさんの参加者が来ると予想されるため、初期の段階で機材が揃っていないと練習できない参加者が出てくる可能性がある。今後、継続的に続けていきたい事業なので、分割購入では参加者のモチ

バージョンが上がらないと考えた。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

再質問がないようなので「春-15」を終了する。

— 提案者退席 —

【野口係長】

順番が前後するが、次に「春-18」のヒアリングを行う。

【春-18提案者】

- ・「春-18 にぎわいのあるまちづくり（春日地区の歴史文化に触れ合う）事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-18提案者】

質問1「今後、地域性をより打ち出したイベントに置き換えていく考えはあるか。」について回答する。

春日地区ににぎわいを作りたい、春日山への誘客に繋がりたいとの思いから取り組んでおり、春日山駅前でのイベントは春日山への足掛かりと考えている。春日山駅前イベント会場から春日山への周遊バスを運行しているのだが、現状バスの利用者は少ない。現地でのおもてなしやバスの運行時間の見直しを行い、将来的には春日山でも同時にイベントを行い、駅前のイベントと春日山への誘客を図り、両方が成り立つ事業にしたい。まだ3回目の事業のため、手作りイベントの枠を超えていないが、地元・地域の団体に出演してもらい、段階を経て春日山への誘客イベントに繋がっていきたい。

次に、質問2「支出削減の工夫ができないか。」について回答する。

支出の主な内容が、イベント会場の設営・設備費に関わる費用であり、経費削減が難しい。しかし、会員内で融通のきく設備は格安にて提供してもらった。他に、チラシを会員が手作りで作成してみたのだが、実際業者に頼むよりも費用がかかってしまい、チラシの制作担当に泣いてもらった経緯もある。なかなか大幅な経費削減は難しいが、常に支出・経費削減は心がけている。

次に、質問3「参加者及び主催団体の一部負担ができない理由を教えて欲しい。」について回答する。

イベント自体がまだ小さいために、物販者の出店イコール収益とはならず、出店者も宣伝の側面が大きいと、出店料を支払ってまで参加してくれる店舗がないのが現状である。また、当会は春のイベント開催のみの団体ではなく、他での支出もあるため、極力支出を抑えたいと考えている。さらに、提案書提出時にイベント内容が詰め切れていなかったため、提出後に金額が分かった支出もあり、表に出ていないところもある。そのため、今回は今年のイベント内容を考えるのと同時に、次年度のイベント内容を詰めていくことで提案書との差異をなくしたいと考えている。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーに願います。

【野口係長】

再質問がないようなので「春-18」を終了する。

— 提案者退席 —

【春-17提案者】

・「春-17 中門前2丁目自主防犯サポーターズ事業」についてプレゼンテーション

【野口係長】

個別質問への回答をお願いします。

【春-17提案者】

質問1「中門前全体町内会との連携はどのようになっているのか。」について回答する。

中門前町内会全体では、自主防災等の補助制度からすでに上限まで補助金を受け取っている。全体で使えるリヤカー、担架、投光器、水を備えている。

中門前町内会は非常に大きな町内会で、肝心な部分は中門前一丁目から三丁目の区長・副区長も参加する理事会にて運営している。祭りに関しては、春日山神社のお祭り以外は、各町内会で行っている。

次に、質問2「防災訓練でのゲームや工作の具体的な事例を教えてください。」について回答する。

消防署より水消火器を貸りての水消火器・的当てゲーム、水バケツリレー、下敷きになった人形をジャッキで持ち上げるゲーム、防災トランプなどを検討している。

工作は、折った紙にビニール袋をかけて作る手作り食器、新聞紙で作るスリッパ、ツナ缶とティッシュで作るランプを考えている。

【野口係長】

再質問に入る。進行はアンカーにお願いする。

再質問がないようなので「春-17」を終了する。

— 提案者退席 —

【野口係長】

以上で予定していた全てのプレゼンテーションが終了した。進行を会長に戻す。

【吉田会長】

これで、「(1) 平成30年度地域活動支援事業について」を終了する。

次に、次第「3 その他」の「(1)次回開催日の確認」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・ 次回の協議会：6月6日（水）午後6時30分から 市民プラザ 第4会議室
- ・ 内容：地域活動支援事業の意見交換会
- ・ 5月29日（火）までに「質問・回答一覧表」を郵送予定
- ・ 次回の地域協議会にて「採点票」を配布予定

【吉田会長】

「(2) その他」で何かあるか。

【太田委員】

今回のプレゼンテーションは大変スムーズに進み、時間が前倒しになった部分もあり、順番が前後した団体もあった。今回は昨年度までを参考に、提案団体に対して「5分前までに集合」としたが、次年度は「15から20分前までに集合」としてはどうか。

【吉田会長】

次年度は各提案団体から早めに集合してもらえるよう事務局と検討し、改めて地域協議会の中で決定したい。

他にあるか。

【今井委員】

今回よりアンカーの方法を取り、初めてで至らない点もあったことはご了承いただきたい。さらに、会の冒頭で「再質問がメインではない」との発言をしてしまい、質問したい協議会委員を委縮させてしまったのではないかと反省している。しかし、本日の各団体からのプレゼンテーションで判断出来れば理想なので、今後も何か意見な

どがあれば教えてほしい。

【吉田会長】

他にあるか。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。